

2019年度山口県埋蔵文化財センターの展示内容をご紹介します。

平成30年度に、山口県埋蔵文化財センターが県内で実施した6遺跡の発掘調査の成果を展示・公開しています。ふるさと山口の歴史や文化の成り立ちについて触れることができます。

あわせて、施設の一角を利用して収蔵・保管資料の逸品を公開する「スポット展示」（テーマ：わが子の成長にこめられた想い—^{えい}胞衣の埋納—）も開催中です。ご来館をお待ちしています。

○センター展示「掘っちょる山口2018—未来へ伝える^{いにしえ}古の歴史—」

展示遺跡の概要

遺跡名	所在地	時代	遺跡の特色	展示品数
^{さこ} 迫遺跡	柳井市伊保庄	鎌倉時代～室町時代	中世の農村集落から鍋などの調理道具を発見。	16
^{めいりき} 明力遺跡	柳井市伊保庄	古墳時代、鎌倉時代～室町時代	土石流に見舞われた遺跡。弥生時代以降の各時代の土器を発見。	13
^{まえおかごうち} 前岡河内遺跡	柳井市伊保庄	縄文時代、古墳時代、平安時代～室町時代	縄文時代以降、長期間人びとが居住した遺跡。多数の縄文土器を発見。	59
^{ざにや} 銭屋遺跡	美祢市美東町	弥生時代、鎌倉時代～江戸時代	江戸時代はじめての寛永通宝の ^{ちゆうせん} 鑄銭所跡「長州藩銭座跡」近隣の遺跡。冶金関係の ^{るづぼ} 埵塙を発見。	16
^{ほんごうやまさき} 本郷山崎遺跡	長門市油谷	縄文時代～室町時代	山口県最古の稲作農耕開始期の弥生時代の遺跡。縄文系と弥生系の土器・石器等が混在して出土。	115
^{ほんごう} 本郷遺跡	長門市油谷	古墳時代、平安時代～鎌倉時代	古墳時代の水辺のまつり跡。山口県最多の130点を超えるミニチュア土器を発見。	79

見どころ

6遺跡計298点の出土品を解説パネルとともに速報的に展示し、出土品を通して当時の人々のくらしぶりをふり返ります。

山口県最古の初期弥生土器（本郷山崎遺跡）、水辺のまつりで使われたミニチュア土器（本郷遺跡）は必見です。

展示期間

令和2年3月6日（金）まで

- ◆ 開館時間 午前8時30分～午後5時
- ◆ 休館日 土・日曜日、祝日・休日、年末・年始
- ◆ 入館料 無料